

会 議 名	第2回MINATOビジョンデザイン編集等支援業務委託事業候補者選考委員会
開 催 日 時	令和8年2月26日（月） 午前11時から正午まで
開 催 場 所	港区役所913会議室
委 員	〔出席者〕 小松 尚平 委員長（一般社団法人デザインシップ理事） 野上 宏 副委員長（港区企画経営部長） 河井 孝仁 委員（東海大学客員教授） 丸山 素直 委員（東京藝術大学美術学部准教授） 冨永 純 委員（企画経営部区長室長） 〔欠席者〕 なし
事 務 局	相川企画課長、企画課企画担当（桐本、草野、浄土）
会 議 次 第	議 題 1 開会 2 第一次選考結果について 3 二次選考について 4 閉会
配 布 資 料	資料1 MINATOビジョンデザイン編集等支援業務委託事業候補者選考一次 審査集計結果 資料2 第3回選考委員会進行スケジュール（案） 資料3 第二次審査の実施に関する留意事項（案） 資料4 第1回選考委員会会議議事録 参考資料1 公募関係資料（公募要項・仕様書・選考基準・質問回答一覧） 参考資料2 第二次審査採点基準表 参考資料3 事業者提出資料（2事業者分）
会議内容	
委員長	1 開会 ・ 第2回事業候補者選考委員会では、一次審査の採点結果を確認し、二次審査に進出する事業者を選考する。
事務局	・ はじめに、事務局から配付資料の確認をお願いする。 （配付資料について説明）
委員長	2 第一次選考結果について ・ 次に、項番2 一次選考結果に移る。
事務局	・ 2者から応募があったとのことで、本日は、この2者のうち、二次審査に進む事業者を決定する。集計結果など議題に係る資料について、事務局から説明をお願いする。
委員長	・ （集計結果について説明）
野上委員	・ それでは審査に当たり、評価したポイントなど、野上委員から順番に講評・コメントをお願いする。 ・ B事業者を高く評価した。

- ・ まずA事業者だが、制作物ごとに人員がきちんと配置されており、手厚さを感じた。一方でプランナーの経歴が47年であり、ベテランであるためにかえって全世代に訴求するのに年代的にマッチするのと感じた。
- ・ 動画は楽しく見る事ができた。一方で表紙はシックなデザインで、MINATOビジョンに合わないのではないかという感じがしたため、少し評価を低くした。
- ・ B事業者については、スケジュール等についても詳細な記載がされており、また、業務の方針や制作物のターゲットの狙いというのがしっかりわかりやすく伝わってきた。
- ・ B事業者のデザインの方がMINATOビジョンには合っていると感じた。一方で、動画の提案はやや内容が薄いので、プレゼンでもう少し聞いてみたいと思う。
- ・ B事業者を高く評価した。
- ・ A事業者は、体制、業務フローが明示されていたが、もう少し具体性があるとよいと感じた。また、本編と啓発動画の役割が明確化されており、それに合わせたコンセプトが提案されていたが、B事業者と比較すると港区の個性が感じられなかった。また、「かるた」の発想は良いが、大人に対してのアプローチとしては有効なのか気になった。
- ・ 動画については、区のサイネージ等で発信することを考えればとても有効な手立てになるのではないと感じた。
- ・ B事業者は、体制が明確なことに加え、様々な職種でチームが構成されており、非常に期待ができる。ただ、業務フローや打合せ回数等、もう少し具体性があった方が良かった。
- ・ 本編、啓発動画の役割は明確に提案されており、港区の特徴的な風景、写真を組み合わせることで、デザインが具体化されていた。また、余白・文字の大きさ等、読む人の興味を引くための工夫が感じられた。
- ・ 私もB事業者を高く評価した。
- ・ B事業者の方が、全体を通して、デザインが良かった。スケジュールなど、臨機応変に対応できるかについては、両者とも平均に近い印象。
- ・ A事業者の提案した本編のデザインは、少し高級感を感じさせるものだったが、中の情報が文字中心になっており、写真やイラスト、図解が少ないので、パッと見の分かりやすさという点では少しわかりづらい印象。また、「かるた」は、子育て世代や年配の方、子どもたちも巻き込んで一緒に楽しむという意図が感じられたが、本編のデザインに一貫性がないように感じた。動画はテンポがよく、多くの人に見てもらえるのではないと感じたが、区が求めているものなのかと考えたときに、少し違うのではないとも感じられた。
- ・ B事業者は全体を通して、ビジュアル、図や写真の使い方がうまくまとまっており、パッと見たときに実際にすぐ読めそうな印象であった。啓発冊子についても、読みやすいフォントに加え、色使いなど工夫が感じられた。動画に関しては、昔の写真を使うなど、テーマがはっきりしており、問題ないと感じた。

富永委員

丸山委員

河井委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ A事業者の動画は、印象に残るものでとても良かったが、結局何を伝えたいのかはよくわからない。何となく多くの人に知らせたいという印象。本編はしっかりと作り込み、本当に読みたい人をターゲットにして読ませるものという感じを受けた。</li> <li>・ B事業者は、多くの人に読んでもらうことを想定しつつ、誰に読んでもらうかというのを相当明確にしており、良いターゲティングだと思う。</li> <li>・ A事業者の動画は面白いが、それで終わる。そういう意味では少し残念という印象を受けた。</li> <li>・ B事業者については、ターゲットの明確化と、それぞれの媒体ごとにどういったストーリーで引っ張っていくのかが明確になっていたため、高い評価をした。</li> <li>・ 港区は「スタイリッシュな街」という印象を持っている。本編のデザインについては、A事業者の方が圧倒的にスタイリッシュでいわゆる港区らしさを感じた。</li> <li>・ 一方でB事業者のデザインは、全国どこにでもあるようなありきたりなものであった。A事業者は、港区らしさを表現できているという点で、高く評価した。ただ、ターゲティングやストーリー性、それに基づいた提案となっているのかという意味では、B事業者の方が良いと感じた。</li> <li>・ 動画と本編の雰囲気はA事業者、読んでもらうための工夫については、B事業者の方が良かったが、最終的に両者に大きな差はない。</li> </ul>
小松委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 両者とも評価としてはほぼ変わらないが、点数をつけるとすると、A事業者の方が高くなったと。</li> <li>・ 河井委員の意見と被るが、私もA事業者の動画と本編のデザインの高級感という点で、制作物に時間をかけていると感じ、高く評価している。</li> <li>・ しかし、配置計画の実効性など過去の実績も含めてB事業者の方がしっかりしている印象で、本編の構成力やターゲティングという点ではB事業者も評価しているが、最終的にはA事業者の方が若干高くなった。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ A事業者の方が港区らしさをうまく表現しようと考えられていた印象。しかし、丸山委員がおっしゃるとおり、少しまとめきれていない部分もあったため、両者でうまく差をつけることができず、同じぐらいの点数になっている。</li> <li>・ 各委員からの講評を踏まえ、審査に当たったの意見交換を行う。</li> <li>・ 意見交換を踏まえ、採点に修正が必要であればこの場で修正を行っていただく。また、二次選考に進める事業候補者を決めることに加え、どういった質問をするかについてこの場で意見交換を行いたい。</li> </ul>
小松委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 過去のプロポーザルでは、事前に提出された資料とプレゼンで熱量が全く異なるということがあった。そのため、第3回選考委員会での質問はとても重要。</li> <li>・ 区のを考えをしっかりと汲み、事業候補者がどこまで考えられているのかという質問が必要。</li> </ul>
河井委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ そもそも区は港区のことをどう思ってもらいたいのか。そこは必ずしも仕様書や募集要項からだけでは読み取れないのではないかと。</li> </ul>

事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>港区をどういう街だと考え、デザインを制作したのかを確認し、明確にすることで、イメージとクリエイティブの整合性が見えてくる。これにより、事業者の「本気度」が見えてくるのではないかな。</li> </ul>
小松委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>そういった点をしっかりと念頭に置いた上で質問を考え、齟齬があるか、考え方がクリエイティブにしっかりと反映されているのかを確認することが重要である。</li> </ul>
丸山委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>今いただいたご意見について共通事項とし、両者が港区のことをどのように考えているか、事業者の「本気度」が確認できる質問を共通質問とさせていただく。</li> <li>両事業者ともそれぞれ異なるバージョンのデザインも制作できると思う。</li> <li>デザインの方向性が変わったときに、限られた時間の中で対応できるのかという点の確認も重要である。</li> <li>デザインのクリエイティブ能力については、フォントの使い方、間の使い方、彩度や色の使い方など専門的な視点で見ると、B事業者の方が優れている。</li> <li>ただ、委員長がおっしゃるとおり、両者ともおそらくどちらのデザインでも制作することは可能だと考える。</li> <li>単にクリエイティブ能力を比較すると、A事業者が少し力不足だと感じるが、デザインの方向性が急に変わった時にどう対応するのか、その辺りの難しさもベースの力と熱量含めて確認することが重要。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>各委員からご意見いただいたとおり、方向性が変わったときに対応できるのかという点は事業者の「本気度」にも関わると考えるため、共通質問とさせていただく。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>彩度や文字の大きさ、フォントなど、専門的な点もあるので、そこは専門家の丸山委員にも補足していただきながら質問するのが良いのではないかな。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>専門性の高い質問については、専門的な知見からご質問いただきたい。</li> </ul>
野上委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>MINATOビジョンはデザイン性を重視し、みなさんに手にとってもらい、興味を持ってほしいという思いがある。</li> <li>通常、計画の策定支援事業者に策定支援の範疇でデザインをしてもらうことが多いが、今回は、策定支援とは別にデザインを行う。注意しないといけないのは、港区基本構想は文字数が少ないということ。これを基にデザインをしたため、余白は作れたのかもしれないが、計画部分となると、文字数も多く、また、図表やグラフなどが多用される場合がある。それらをどのようにまとめ、見やすいデザインとしていくのかはとても興味深い。</li> <li>今回デザインの業務を委託するものは、港区基本構想の文字量の比ではない。例えば、完成したものが全部で4万文字だったとして、これをデザイン化し、300ページにまとめようとした場合、実はミスマッチであったということにはないようにしないといけない。</li> <li>事業候補者の本気度やクリエイティブ、柔軟性などを次回の選考会で確認をしないと、業務が進むにつれ、現行の計画書とあまり変わらないものとなってしまっては面白くない。</li> </ul>
河井委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>制作物は本編の抜粋版なのか概要版なのか、どちらをイメージして制作したの</li> </ul>

事務局 丸山委員	<p>か確認するのはどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特にB事業者については、このデザインで300ページをまとめられるか確認する必要があるのではないかと。計画本編をこの文字量、デザインでまとめようとすると、1000ページは軽く超える。</li> <li>・ 当然A事業者に対しても同じだが、本編はこのデザインの延長なのか、また、概要版と本編はどのように差別化するのかという点を明確に確認すべき。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 共通質問事項とさせていただきます。</li> </ul>
富永委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 私も、B事業者のデザインで300ページにまとめるのは難しいのではないかと考える。</li> <li>・ 計画は文字量も多く厚い。それをまとめてデザインするというのは、かなりの時間と労力が必要で、本当にどうやってまとめていくのか、とても気になる。</li> </ul>
河井委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ご意見を踏まえて共通質問の案を作成し、事前に委員の皆さまにお送りさせていただく。</li> <li>・ 二次選考は1者当たり、説明10分、質疑20分の計30分としているが、質疑の時間が20分で本当に足りるのかが気になる。</li> <li>・ 5人の選考委員の場合、おそらく1人当たり1問程度しか、質疑ができないのではないかと。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ほかの自治体のプロポーザル選考委員も務めたことがあるが、港区のように事前に二次選考の質問事項を調整しているところはなく、とても画期的。</li> <li>・ 委員の意見交換により質問事項を調整した結果、それぞれが何を質問するかが明確になったため、質疑の時間は20分でも問題ないのではないかと。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 明らかに時間を超過する場合、事業候補者にその旨を伝えないといけないが、質疑時間が1、2分程度前後することはご容赦いただきたい。</li> <li>・ もし両者が二次選考に進んだ場合、場合によって実施時間が前後する可能性がある旨、両者に伝えさせていただく。</li> </ul>
副委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 意見交換を踏まえ、自身の採点について振りかえる時間を設ける。</li> <li>・ 採点を変更する場合は、変更理由と点数についてご発言いただきたい。</li> </ul>
小松委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 委員間の採点が五段階評価で3段階以上離れていた場合、誤認識による差が出ている可能性がある。採点の質を高めることを目的に、採点に当たっての委員の考えを確認したい。</li> <li>・ 小松委員と丸山委員で評価段階に3段階以上の差のある項目がある。</li> <li>・ 相対評価により、満点寄りに評価しまったというのが正直なところ。</li> <li>・ 特に項番4、5は全体的に高評価となっており、ほかの委員よりも高い採点となっている。</li> </ul>
副委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 誤認識による評価でなければ、必ずしも是正する必要はない。</li> <li>・ 誤認識がなく、それぞれの評価方法で評価した結果ということであれば、評価としては妥当であると考えている。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ご意見をいただいたとおり、採点の視点が委員によって異なるということで、採点はこのままとさせていただきます。</li> <li>・ 集計の結果、A事業者が867点、B事業者が1027点、得点率は64.2%、</li> </ul>

<p>委員長</p>	<p>76.1%となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一次審査の評価点数については、この点数でよろしいでしょうか。</li> <li>・ 集計の結果、一次審査の順位は、1位はB事業者。2位はA事業主となった。</li> <li>・ 一次審査通過事業者は、募集要項等では3者程度としているが、今の一次審査を踏まえ、何者を一次選考通過とするか、ご意見はあるか。</li> <li>・ それでは、二次選考に進むのはA者及びB者の2者とする。</li> </ul> <p>3 二次選考について</p>
<p>委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次に、二次選考について、事務局から説明をお願いします。</li> </ul>
<p>事務局</p>	<p>(二次選考について説明)</p>
<p>委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ それでは資料2及び3について修正すべき点があるか検討したい。</li> </ul>
<p>野上委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 先ほども話に上がったが、どのプロポーザルでもプレゼンの時間は、「分」ではなく、「分以内」とするのが最近の主流。プレゼンは「10分以内」、質疑については「20分程度」という表現をすることで、20分を超える場合もあれば、若干少なくなる場合にも対応できる。標記は調整したほうが良い。</li> </ul>
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 承知した。</li> </ul>
<p>委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ そのほかになければ、予定していた議題は終了とする。</li> </ul>
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 最後に事務局から連絡事項をお願いします。</li> </ul>
<p>事務局</p>	<p>(第3回事業候補者選考委員会のスケジュール等について説明)</p>
<p>委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 以上で、第2回事業候補者選考委員会を終了する。</li> </ul> <p>4 閉会</p>